

国内外ゴルフツアー記 前編

国内ツアー記① 総まとめ編

廿日市市本町／外科・胃腸科

芸南医師同好会 第2代会長 藤解 堯文



芸南医師同好会
会報 no.242
(題字は筆者)

芸南医師同好会会報 No.242 (2020年版、後編 2021年3月20日発行)に掲載された同原稿を藤解先生のご許可を得て、数回に分けて連載します(今回はその第1回です)。

なお、文中のGMAは芸南カントリー倶楽部の医師同好会「芸南医師同好会」の略称です。

ゴルフの楽しみ方は人それぞれ色々あれど、私は今ではゴルフツアーに出掛けるのを最大の楽しみとしている。27歳(昭和47年)にゴルフを始めて48年、何ラウンドしてきたらうか? これは全ての記録を保管していないので不明であるが、35歳で開業以来ほとんどの休日と、ときどきの木曜日の午後

とで年間50～60ラウンドしてきた。当然国内外へも出かけてきた(開業前からでも)。現会報幹事の細田先生がこのGMAの会報幹事になると、私には単なる受賞記ではなく、必ず『ゴルフツアー記』を寄稿するように度々強い要望をされた。そこで今まで2007年No.4号で前編として『国内ツアー記』を



廣野ゴルフ倶楽部
(2008/5/14 筆者撮影)



知覧カントリークラブ

投稿した。そして2013年 No. 2号で後編として海外編を投稿するつもりでいたが、その間6年間で更にたくさんの国内ツアーを重ねたので、追加と改訂版として海外編は先送りし「国内編第2弾」を寄稿している。

そして今回再々度の要望を受けていよいよ満を期して「海外編」に取り組むべく準備をしつつ、過去2回の国内編を読み返しているうち、初版から13年、改訂版を出してもう

7年が経過している。GMAの会員も随分顔ぶれが変わってきているし、読んで頂いたことのある人もほとんど記憶に残っていないであろう……ことなどを考慮に入れ、今回もまたもや海外編は先送りし、国内編2編を再投稿すると共に、手元にある写真も追加することにしました。それでイメージが湧くと思います。度々の駄文で申し訳ないが今回は前2回分の再掲載と追記でその責を果たしたいと思います。

① 2007年 寄稿文～掲載

② 2013年 寄稿文～掲載

改訂分は2013年末時点までの国内ツアー記であったが、その後7年間で更に何コースか新たに訪問したコースがあるので今回も追加で紹介します。

◎ 2014年～初めてのコース

1月12～13日の連休に鹿児島に行き『知覧C.C.』と『鹿児島空港C.C.』に初めて訪



若木ゴルフ倶楽部（デズモンド・ミュアヘッド設計）



グレートアイランド倶楽部（左側はホテル）

問。知覧 C.C は例の特攻隊基地のあった知覧飛行場の近くにあるがフラットで広く、池が多くその池がらみの景観は素晴らしく私のランキングではベスト 10 入りさせてもいいくらい。その後正月ツアーで再度行くことにもなった。

◎ 2015～2017 年

記録紛失してしまっていた。

◎ 2018 年～初めてのコース

5 月 GW に兵庫県川西市の超名門『鳴尾 G.C』に行けた。100 年の歴史を誇り、有名な C.H アリソン設計の手造りコースで、敷地は狭くアップダウン、ドッグレッグが多く



ゴルフ 5 カントリークラブオークヴィレッジ

難しい。先日テレビのゴルフ番組にて特集で放映されていたが、どこが名門なのか私には理解できず、また行きたいとは思わず。福岡の『若木 G.C』『福岡雷山 G.C』鹿児島『高牧 G.C』も初めての訪問だったが、下調べして行っただけにどれも良かった。いずれもまた機会があれば行きたいところ。

◎ 2019 年

海外では初めての米大陸西海岸のペブルビーチに行ったが、昨年に旅行記を投稿しているので次の海外編の時に再度触れたい。国内では更にとくさん行ったが、全てリピート訪問。

◎ 2020 年

正月休みに沖縄に行き『PGM ゴルフ沖縄』に行った。ここは2020年より男子プロのツアー会場になった。30年くらい昔、改造前の『沖縄国際ゴルフ G.C』時代に2回行ったが大改造されていて昔の面影なし。しかし面白いコースになっていてまた訪れたいコースである。

そしてコロナ禍の9月シルバーウィークに横浜からアクアラインを通して東京湾をくぐって千葉県入りし『グレートアイランドゴルフクラブ』へ。ここはホテル併設で、この

ホテルに前泊したが、素敵なホテルだ。コースは毎年、女子プロツアーの伊藤園レディーストーナメントの会場になるのでテレビで見た方も多いと思う。きれいで素敵なコースである。

更に『オークヴィレッジ G.C』。ここもかつて女子プロツアーの会場になり、全てのホールに池が絡み、かつバンカーの形状も個性的で面白く景観がユニークで特徴があり関東随一の景観を誇るといわれている。

最終日横浜に戻り名門『戸塚 C.C 西コース』へ。ここは前年に日本オープンも開催され、さらには数々のプロトーナメントの会場となり、メンバー同伴以外は簡単にはプレーを許されない。古くからの廿日市在住だったゴルフの友人で、広カンの3大競技でも度々一緒に回った元広カンのクラブチャンピオンで、現在は東京に移住してメンバーになっていたので紹介してもらった。彼はこのコースでクラチャン&シニアチャンピオンにもなっている。私は彼のお母さんの主治医でもある。

今回は前2回分の国内編に写真を追加してその責を果たすことにしました。

次回は必ず海外編をお届けします。

(芸南医師同好会 No.242 より転載)

(とうげ たかふみ)

連載で続編をお届けします。



戸塚カントリー倶楽部 西コース



横浜インターコンチネンタルホテル (宿泊ホテル)